

市議会だよりへ共産党議員の質問掲載へ

逆転!!

昨年12月、議会広報特別委員長や議長、議会多数派が共産党の松永さん、梅津さんの一般質問を議会広報に載せないと強引に決めましたが、15日の会派代表者会議と議会広報特別委員会で、一転、「議員の要望通りに掲載する」ことが決まりました。市民の良識の勝利です。

発端は14日の議会広報特別委員会。共産党の二人の質問欄を空欄とした議会広報のレイアウトを事前に見ていた金安潤子委員長が、「この広報が発行されてしまったら市民の批判に抗しきれなくなる」と考えたのでしよう、「空欄のある議会広報は出すべきではない」と述べ、再検討が始まりました。村上議員は、議会広報特別委員会でも掲載を決めたのだから空欄のまま出すのは当たり前。空欄で出せないというなら、改めて「掲載」を決める以外ないと発言。他の委員からは、「代表者会議で決めてほしい」との意見が多く出され、15日、緊急に代表者会議がもたれることになりました。

15日に再開された委員会でも、会派代表者会議の結論として

- ①議会広報の発行は遅らせずに、予定通りの日程で発行する。
- ②二人の質問については希望通りの質問項目で掲載する。

と議長が裁定したと報告され、委員会も追認。最終的な掲載が決まりました。

村上議員は、

- ①議会広報委員会は「不掲載」という誤った結論を出したことになり、各委員は強く反省する必要があること。
 - ②混乱の原因は、委員長の委員会運営にある。両議員と共産党会派に対して公式に謝罪すること。
 - ③委員長は混乱の責任を取って、進退も含めた判断をすること。
- を求め、委員長は公式に謝罪しました。なお、辞任については「引き続き委員長を続けるのも責任の取り方のひとつ」と言いつつ即答を避けました。



一転掲載することになったことを報じた新聞各紙



日本共産党市議団だより西部版 2016.1.24
村上かずしげ通信

発行 日本共産党釧路市議団 22-6121



当初はこのように空欄で発行する見込みでした

不掲載に対する市民の抗議の声やマスコミ・識者の市民の知る権利を侵す問題などの批判が事態を変えた大きな力です。しかし、広報委員長とともに不掲載問題の責任を負う月田光明議長は、「市民に一连の経過を説明する必要はない」と開き直りともとれるコメントをしています。まだまだ、大きな問題が残されています。

新創ウ 森 豊議員
「政策推進室を設置して」

20年に衆参両院では「アイヌを先住民族とすること」の決議が採択され、以て閣官房にアイヌ総合政策道の環境生活部にアイヌ推進室が設置された。市でも政策担当を作り文化の継承などを推進することになった。

現在、生活・福祉の分野、伝統振興の分野、観光振興など、複数の部署が対応。一部署を進めること。業務効率や専門性から適当が、総合的な調整機能と「制」のあり方については検討中。

自民ウ 戸田 悟議員
「市職員の給与に係る独自削減」

財政健全化を図るため市職員の給与削減など集中的に取り組んでいくが、釧路の経済効果を考えると健全であったか危惧している。職員が1日1000円削減したと仮定すると、5年間で約43億円の削減が市の経済に影響を与えたと見える。28年度においては職員給与を元に戻すべきでないか。

【答】 集中取組期間5年間の総人件費抑制の効果額は約34億円となり、所期の目的を達成した。職員費歳出規模は、今後27年度を上回らないことから、給与削減は条例で定めた28年3月31日で終了する。

共産ウ 梅津 則行議員
「戦争遺跡の保存と利活用」

音別町尺別の戦争遺跡4カ所を現地視察してきたが、この施設の存在と歴史的背景などの把握や認識はあったのか。また、市として施設の保存と利活用についてどう考えているのか。

【答】 同遺跡は、太平洋戦争末期に電波計画陣地(レーダー基地)として構築された施設で、音別町史にも構築の経緯などが掲載されている。保存や利活用については、平和の大切さと不戦への誓いを再認識するための一つの手段として有効だが、民有地に点在していることなどから難しいものと考えている。

自民ウ 草島 守之議員
「戦後遺跡の保存と利活用」

同遺跡は、太平洋戦争末期に電波計画陣地(レーダー基地)として構築された施設で、音別町史にも構築の経緯などが掲載されている。保存や利活用については、平和の大切さと不戦への誓いを再認識するための一つの手段として有効だが、民有地に点在していることなどから難しいものと考えている。

共産ウ 松永 俊雄議員
「火気発電所の建設」

「釧路火力発電所の建設に当たっては、建設地周辺住民への周知が重要であり、説明会の開催だけではなく、事業者と連携してより丁寧に説明を行い、住民の理解を得ていくことが必要ではないか。」

**市議会インターネット中継を
ご利用ください**

文書常任委員会
山口 光信委員長
「市役所旧釧路支店の建物等の保存」

本銀行旧釧路支店の建物等の保存に向けた検討が行われているが、建設の取得後の具体的な利活用等について示されていない。市民に対する説明責任があり、将来展望など

経済建設常任委員会
宮田 團委員長
「市発注工事における安全確保」

「市発注工事」に関し、旭化成建材のくわい工事に係るデータ流出があったこと、該当する市営住宅の入居者は不安に感じている。安全・安心のために建築物を点検するなど、安全性について

民生福祉常任委員会
梅津 則行委員長
「マイナビへ通知カード」

「27年11月よりマイナンバー通知カードの配達を開始したが、11月25日現在で受け取りを拒否した件数が64件あった。受け取らなかった市民への対応はどのように考えているのか。」

石炭対策関連エネルギー調査特別委員会
統木 敏博委員長
「火気発電所の建設」

「釧路火力発電所の建設に当たっては、建設地周辺住民への周知が重要であり、説明会の開催だけではなく、事業者と連携してより丁寧に説明を行い、住民の理解を得ていくことが必要ではないか。」

都心部市街地
「北大通3・4
物等整備事業に
示してほしい。工
事の際には、取
るべき措置を